

TYRECONTROL « P » A-187



ユーザーマニュアル

TYRECONTROL 《PRO-P》の：

- タイヤ空気圧測定
- タイヤ空気圧調整(減圧のみ)
- 測定データの記憶 99 セット
1 セット = 4 本の空気圧測定値、それぞれ 《 走行前❄(冷間) と走行後☀(温間) 》
- “VISUALTYRE”ソフトウェア：より高度な解析のための記録/呼出と機器の調整

電池交換

記録データが消去されないよう電池を取外す前に電源を切ってください。
”+”と”-“の方向を間違えないよう新しい電池を正しく取付けて下さい。

電池タイプ：単二

重要：液漏れ等で機器に障害を与えないよう有名ブランドの乾電池を使用して下さい。

液漏れによる損傷は、保証対象外です

ソフトウェアバージョンとシリアル番号

電源を入れたとき、数秒間、スクリーンの中央下部に出る 2 桁の番号がソフトウェアのバージョン、中央上部に出る 6 桁の番号がシリアル番号です。

123



456



注意

精密機械のためエンジンのイグニッション等の電気磁石に影響を受けます。
エンジンが始動しているときは、誤測定やフリーズを避けるため
エンジンのイグニッション部分から 50cm 以上離して下さい。

スイッチ ON

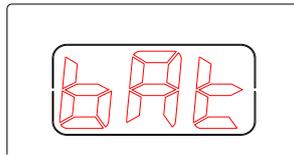
- 中央ボタン  を押せば、バックライト無しで起動します。
- 同じボタンを 2 秒長押しすれば、バックライト  とともに起動します

スイッチ OFF

メニューの中に « OFF » がなければ、10 分以上使用しなければ自動で OFF となります。

電池残量

電池残量が少なくなると « BAT » という文字が点滅し始めます。



動作

7つの主な動作が7つのアイコンによって表されております:



RECORD

新しいデータを記録する
手順：



- 1) これらのボタンを使用し  《 RECORD 》アイコンを選択して下さい (図 1)
- 《 RECORD 》ポジションになると、以下が表示されます：

- 現在の測定値(測定可能状態) ■
- 前回の測定値 ■

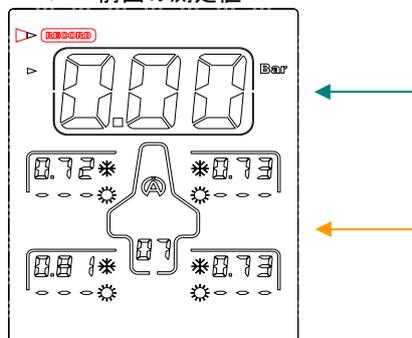


図 1

- 2) ボタン  と  を使い《 FACE 》を選択 (図 2)

- 《 FACE 》ポジションになると、以下が表示されます：

- 現在の測定値(プログラムされた順序での測定)

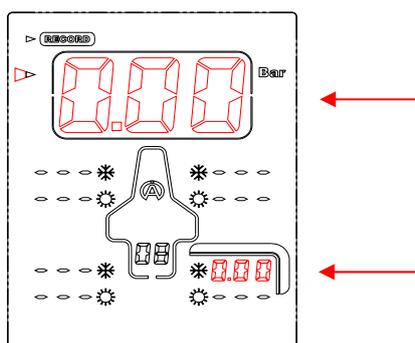


図 2

例 (図 2)は、記録可能状態、《 08 》セット目の走行前 *冷間時、右リアタイヤの測定前

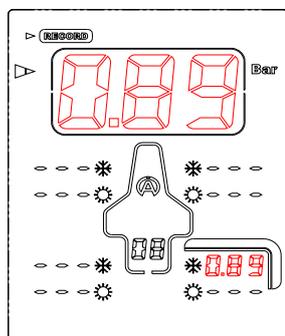


図 3

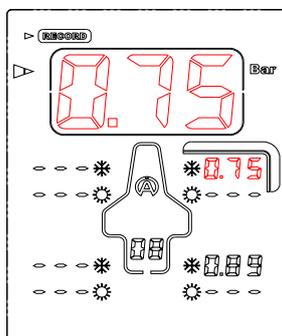


図 4

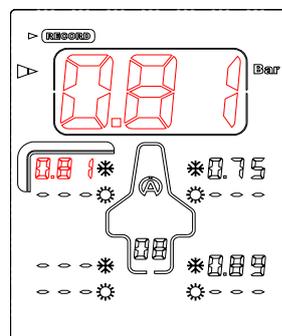


図 5

- 3) 空気圧測定(図 3).
- 4) 中央ボタン **Ok** を押すと空気圧を記録します、すると自動的にプログラムされた次の測定場所へスクリーンが移動します。例 (図 4)、測定場所が自動的に右フロントに移動しています。
- 5) 空気圧測定(図 4).
- 6) 中央ボタン **Ok** を押すと空気圧を測定し、次のポイントに移ります。(図 5).
- 7) このようにプログラムされた通りに最後まで測定していきます。
- 8) 最後の値が測定されたら、自動的に「 RECORD 」メニューに戻ります。

Note : 測定順序は、変更することが出来ます。

(参照 « SETUP » ページ 11, « 測定順序の設定 ».)

RECALL

このメニューは、記録データの呼出です。

手順：



1) これらのボタンを使用して  , 《 RECALL 》アイコンを選択して下さい (図 6)

▪ 《 RECALL 》ポジションになると、以下が表示されます：

➤ 最後に測定した走行前  冷間時と走行後  温間時のデータとそのギャップが表示されます。

2) ボタン  と  を使い 《 FACE 》を選択 (図 7)

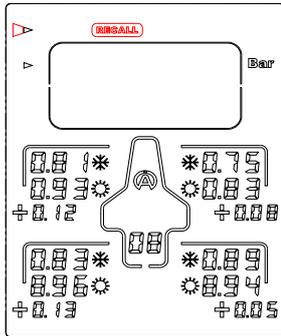


図 6

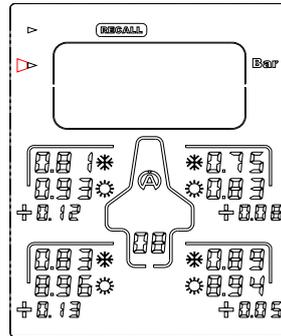


図 7

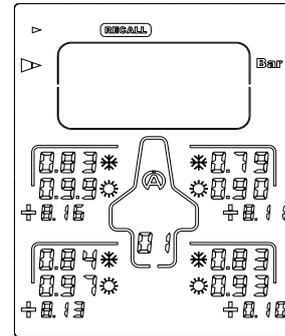


図 8

- 3) ボタン  か  を押すと：最初の測定《 Set 》とそのギャップを表示します。(図 8)
- 4) ボタン  か  で全てのデータを正順で検索することができます。
- 5) ボタン  を使うと逆順で検索することができます。

P

このメニューは、単純な空気圧測定です。

手順：

- 
- 1) これらのボタンを使用して  , « P »アイコンを選択して下さい。
 - 2)
 - 3) 空気圧を測定して下さい。

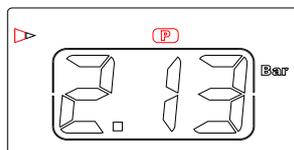


図 9

RST

このメニューは、記録データの消去です。

手順：

- 
- 1) これらのボタンを使用して  , « RST »アイコンを選択して下さい。(図 10)
 - 2) 中央ボタン  を 1 秒間押して下さい。全てのデータが消去されます。(図 11)

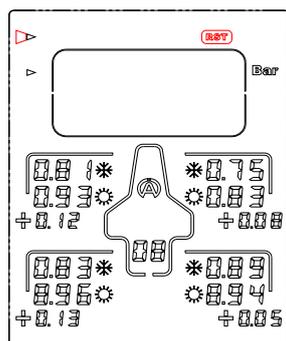


図 10

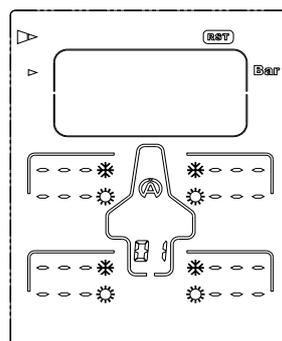


図 11

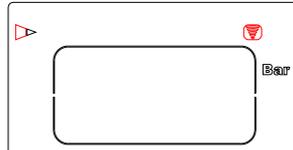


このメニューは、記録されたデータを PC に移す作業です。

手順：



- 1) これらのボタンを使用して  , このアイコンを選択して下さい：



- 2) IR-USB (the A421) を取付けます。
3) « download »コマンドが、PC 上の VISUALTYRE プログラムから送信されます。

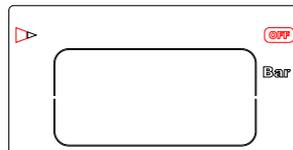


このメニューは、スイッチ OFF です。

手順：



- 1) これらのボタンを使用して  , このアイコンを選択して下さい：



- 2) 3 秒後にスイッチ OFF となります。

Note : メニューの中に « OFF »がなければ、10 分以上使用しなければ自動で OFF となります。

セットアップ

これらのメニューは、機器の様々な設定です。:

- 01) 単位の選択 Bar/PSI << menu 01 >> (ページ 10)
- 02) 車両の選択 << menu 02 >> (ページ 10)
- 03) 測定順序の設定 << menu 03 >> (ページ 11)
- 04) 圧力センサーの較正 << menu 04 >> (ページ 13)

SETUP モードへの手順 :

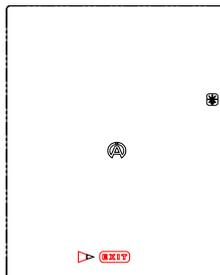
- 1) スイッチ OFF の状態でなければなりません。
- 2) 5 秒以上中央ボタン  を押します。最初のセットアップメニュー: << 単位の選択 Bar/PSI >> が表示されます。

SETUP メニュー内の移動 :

ボタン  と  で移動します。

SETUP モードの終了 :

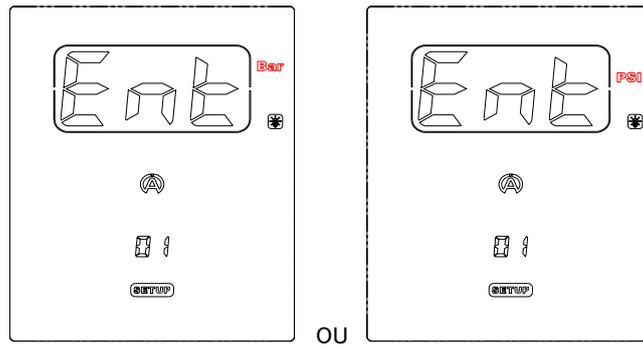
- 1) << 圧力センサーの較正 >>メニュー後、



- 2) << EXIT >> を選択して中央ボタン  を押します。標準的な作業モード、<< RECORD >> モードに移動します。

01) 単位の選択 Bar/PSI :

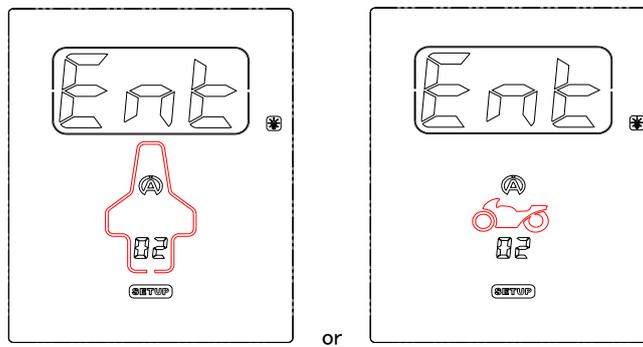
手順 :



- 1) 上記の2つのどちらかの表示の時、中央ボタン^{Ok}を押し選択モードに入ると「Ent」表示が消えます
- 2) ボタン^vと^Δを使い、単位を変更します。
- 3) 中央ボタン^{Ok}を押し選択モードを終了します。

02) 車両の選択 :

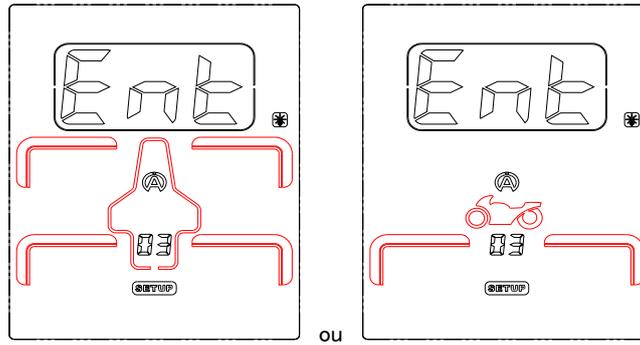
手順 :



- 1) 上記の2つのどちらかの表示の時、中央ボタン^{Ok}を押し選択モードに入ると「Ent」表示が消えます。
- 2) ボタン^vと^Δを使い、車両を変更します。(四輪車又は二輪車)
- 3) 中央ボタン^{Ok}を押し選択モードを終了します。

03) 測定順序の設定 :

手順 :



- 1) 上記の2つのどちらかの表示の時(メニュー《02》による)、中央ボタン  を押し選択モードに入ると《Ent》表示が消えます。

Note : 下記の説明は四輪車を例としています。

- 2) 左フロントタイヤが初期設定として点滅しています。(図 13)

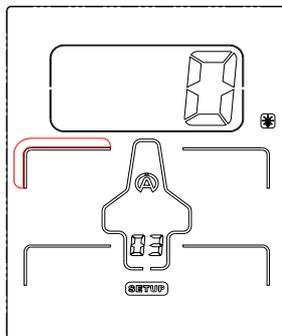


図 13

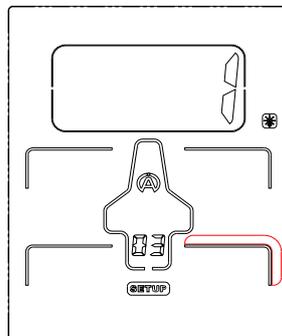


図 14

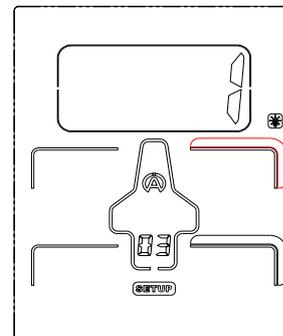


図 15

- 3) もし最初に測定したいタイヤを他の部分にしたければ、図の中の他の部分を選択します、選択には4つのボタン     を使用します。
- 4) 中央ボタン  を押し確定します。(図 14).

選択が確定すると、「1」が表示され、自動的に他の部分のアイコンの点滅が始まります。(図 15) 2 番目に選択したい場所が点滅している場所と違う場合は、同じように選択したい場所に移し、以上のことを繰り返します。

このようにして、希望通りの測定順序を構築することが出来ます。

- 5) 希望通りの順序を選択し 4 ポイントがプログラムできると「EXIT」表示が現れます。
- 6) 中央ボタン  を押し選択モードを終了します。

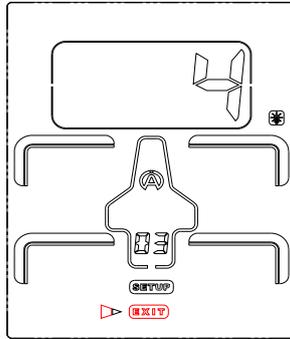
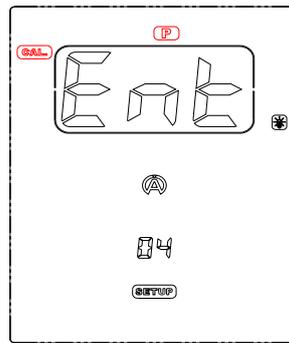


図 16

04) 圧力センサーの較正:

手順:



- 1) この表示の時中央ボタン **Ok** を押すと、「Ent」表示が消えます。
- 2) 中央ボタン **Ok** を押すと、圧力センサーの較正が終わり選択モードを終了します。
(図 18).

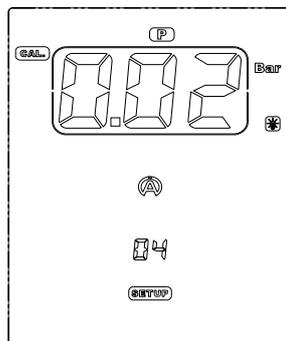


図 17

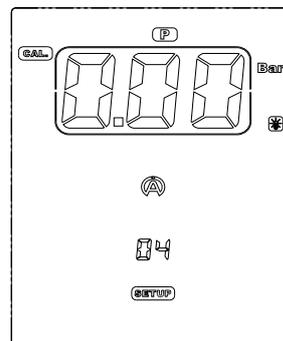


図 18

Note : 圧力がかかっていないにもかかわらず何らかの値を示しているときこの較正を行って下さい
(例:図 17).

重要 : 較正時、測定部は、フリーでなければなりません。

Warranty conditions

All our devices have been subject to in-depth factory tests and are covered by a 24-month warranty against manufacturing defects. The warranty comes into force from the date of purchase. The date of purchase is the date stated on the invoice/till receipt given by the seller at the time of sale. The manufacturer undertakes to repair and replace free of charge any parts which have a manufacturing defect during the warranty period. Any defects which cannot be clearly attributed to the material or the manufacturer will be examined at one of our approved after-sales service centres and invoiced depending on the results. The warranty does not apply in cases of device opening, accidental damage, negligence or misuse, inappropriate or incorrect installation or failure to perform the installation in accordance with the instructions contained in the attention note and in events not associated with the rules of operation and use of the device. The warranty will become null and void in cases of repair or handling carried out by unauthorised third parties. Intervention under warranty does not entitle to the device replacement or warranty extension. Intervention under warranty is carried out at one of our approved after-sales service centres or at our head office. In the latter case, the item must reach our establishment postage paid, that is, transport costs shall be paid by the user. The manufacturer undertakes no responsibility for any damage to persons or goods caused by poor installation or incorrect use of the device.

Product modifications

Alfano SA applies a method of ongoing development. Consequently, **Alfano SA** reserves the right to make changes and improvements to any product described in this document without prior notice.

Damages and responsibilities

The products are used under the customer's sole direction and responsibility and therefore damages suffered or caused by the products shall be borne by the customer. No compensation will be paid for removal of enjoyment, and ALFANO cannot be held responsible for the direct or indirect consequences of their use or rendering useless. ALFANO's obligations are duty of care and not a performance obligation.

Disposal

The device must be disposed of with respect for environment. The chronometer and its accessories contain many plastic parts. When the chronometer or one of its accessories no longer functions, they must be dealt with according to the laws of the country. Used batteries must be disposed of in accordance with the regulations in force in your country.

ALFANO S.A.

Rue de l'Industrie, 3b – 1400 NIVELLES (BELGIUM)

www.alfano.com

28-05-2010